

『特定非営利活動法人ハチ高原・氷ノ山自然体験村』のご説明

◆事業趣旨

兵庫県最高峰の氷ノ山とハチ高原を中心として兵庫県内を使い、異年齢の都市と農村の子ども達が、寝食を共にし、アドベンチャー要素の高い活動や心の安全を心がけながら行う。この事業の目的は「自分に自信を持つ」「新しい自分発見」「新しい仲間をつくる」「自ら考え、行動する力」を養うこと。

◆沿革

- 2001年10月 自然体験グループ「ハチ高原子ども長期自然体験村実行委員会」の結成
- 2001年から 毎年4回ハチ高原子ども長期自然体験村実施及び講習会
- 2004年8月 任意団体特定非営利活動法人ハチ高原・氷ノ山自然体験村としての活動意思を確認
- 2005年8月 特定非営利活動法人ハチ高原・氷ノ山自然体験村創立総会
- 2005年12月20日 特定非営利活動法人ハチ高原・氷ノ山自然体験村承認
- 2011年 兵庫県但馬産業大賞受賞、兵庫県このとり賞受賞
- 2021年 (財)日本キャンプ協会 課程認定団体 「キャンプインストラクター養成機関」

◆これまでの活動状況

- ・ハチ高原子ども長期自然体験村夏季14泊15日・冬季3泊4日「ゆめ基金助成事業」
- ・ハチ高原子ども長期自然体験村夏季30泊31日 「文部科学省委嘱事業」
- ・「山と海」交流事業 大阪岬町～ハチ高原 (夏・冬)各7泊8日「文部科学省委嘱事業」
- ・わんぱく自然体験村1泊2日を2回・2泊3日・3泊4日各1回「日本財団助成事業」
- ・学校長期自然体験活動指導者養成講習会(4日間)春、秋2回「文部科学省委嘱事業」
- ・幼児期からの自然体験(ムッレ教室)1泊2日 「コベルコ助成事業」
- ・棚田でイルミネーション「ハートフルファンダ助成事業」

以後、自立できる事業として進める方針です。

◆現在の活動状況

(子ども対象キャンプを27年以上運営しています) 冬のわんぱく自然体験村子どもツアー、夏のわんぱく自然体験村子どもツアー、長期自然体験村14泊15日、MTBクダリングイベント 他

- ・コロナ対策キャンプ「いつ来てもいつ帰っても良いキャンプ」

子どもたちの自立支援事業、何事もどうせやるならやり抜く心、挑戦し続ける心、深く考え抜く心、謙虚で有り続ける心、どんな時でも楽しめる心。子どもたちの生き抜く力を育成する一助になるように。こんな気持ちを込めて実施しています。

(指導者養成事業) MTB(マウンテンバイク)指導者養成講習会、ツリーイング(木登り) T1～T3 指導者養成講習会、パラグライダーA～C 級指導者養成講習会、障害者スキー指導者養成講習会、ファーストエイド救急法講習会、日本キャンプ協会課程認定団体キャンプイントラ&D2種養成事業、日本レクリエーション協会実技履修認定団体・SAJ スキーバッジテスト、認定スキー学校

◆加盟個人、団体

日本レクリエーション協会、日本キャンプ協会課程認定団体、日本アウトドアネットワーク「JON」、日本ツリーイング協会、日本チームビルディング協会、SAJ(全日本スキー連盟)認定スキー学校 他

重要事項（必ずお読みください）

◆宿泊について

- ・ハチ高原及び周辺宿泊施設。このはなスキーツアーは「このはな」
- ・（夏）長期自然体験村の MTB ツアーは移動先の施設又は野営します

◆スケジュールについて配布

バスツアー（バスでの送迎付き）の場合、添乗員は付きません。但し、リーダーが付きます。スケジュールは、わんぱく参加者その都度インフォメーションします。（但し、事前に日程表を配布する行事（ツアー）等も有ります）

◆万が一の時について（怪我・病気・トラブルなど）

スタッフは、出来るだけグループ内で起こったことは、グループ内で解決するようにします。怪我や病気の場合は、病院へ連れて行き休んでもらいます。夜間は総合病院の公立八鹿病院へ車で搬送します。

公立八鹿病院 079-662-5555 ハチ高原から 40 分

市立出合診療所 079-667-8008 ハチ高原から 10 分

途中で参加できない状態になった場合は、迎えに来ていただくこととなります。

子どもの意志を尊重しますが可能な状況であれば、せつかくですから参加できるように働きかけます。

◆保険等について

子ども達には、企画旅行賠償制度（傷害保険）に加入しています。（参加費に含む）

ツアー企画旅行賠償制度 {（入院 4,000 円）・通院（2,500 円）・死亡（1,000 万円）} 及び特別賠償

◆事故が起きた場合の対応

事故報告書提出⇒保険会社よりご自宅に書類送付⇒保険会社へ指定資料提出⇒保険会社より入金。尚、万が一プログラム中にケガ、事故が生じた場合、当団体で加入している上記保険の範囲内で対応いたします。

尚、病気（風邪、発熱、コロナ）等、傷害保険の範囲外につきましても、実費負担となります。現地で病院へ行った場合、NPO 法人ハチ高原・自然体験村で立替ます。解散時に立替分をお支払いください。

- ・故意による破損などは対象になりませんので負担していただきます。
- ・参加者が疾病、傷害、その他の事由により医師に診断、治療を必要と判断する場合は必要な処置とります。

尚、その義務を負うものではありません。これにかかる一切の費用は保護者の負担となります。

- ・次の事由の場合責任を負いかねます。（免責事項）

天候、天災、地変、ストライキ、政府指令、盗難、暴動、流行病、隔離、参加者の不注意、指示を聞かないで起きた損害、これらによるスケジュールの変更、遅延等の損害。

スタッフの指導スタイルについて（長期キャンプの際の基本体系）

※わんぱくコースのキャンプはこの考え方を基本としてスタッフは運営を進めています

子どもの「生きる力」を育む、つまり自ら考え行動する力を育む事業を推進しています。今までの野外活動では、大人が段取りし、ただ体験をさせていたというものが大半でした。そこで、ハチ高原長期子ども自然体験村では、野外活動を使った教育を実施することになりました。ハチ高原での体験は、非日常的な体験ですがこの体験から学んだことを実生活に活かせるように指導いたします。当日、初めて会った子ども達が、一日一日の体験を通し、そこで学んだことを自分たちのグループで規範（守ること、してはいけないこと、課題を解決するためにはどうすればいいか、仲間の目標に対し自分がどう関わっていくと達成できるかなどとして活かし）、15日間を過ごします。チャレンジすることや一日の計画を自分たちで考え、活動するスタイルを取ります。グループの成長とともに個人の成長を促進します。この成長段階で、非認知能力（心の葛藤・忍耐・協力・思いやり）が必要なプログラムを組んでいます。

子ども達に「グループチャレンジ」と「個人チャレンジ」という課題を提示しますが、その課題を子ども達は「どうしよう」「できないよ」と思うのですがグループで協力、信頼、役割分担、励ますことなどにより「やってみよう」「がんばってみよう」といった気持ちになり、その課題にチャレンジし、それが出来た時の達成感や充実感を体験してもらいます。

子どもが知らないことは、事前に講習してから体験をします。前半部分は、指導者が主体となって介入・指導いたしますが、ツアーからは、子ども達が計画を立て、グループで活動するようにします。

沢遊びは指導者が主体となって行います。（安全確保・誘導が重要となる為）子どもはチャレンジのみですが仲間を支える、助けることに重点をおいて実施します。

指導者は、子ども達の安全確保をまず第一に考えております。危険だと判断する場合は中止します。

◆ スタッフについて

スタッフは、文部科学省の野外教育企画担当者セミナーを受けた人・キャンプ指導者、生きる力を育む活動の企画や指導法を理解している者で実施します。

また、木登り、MTB、パラグライダー、スキー、スノーボードなどは、各専門スタッフが付来ます。

基本的に各グループにスタッフ1名、全体に看護師又は救急員、栄養士で実施します。

◆ グループ分けについて

わんぱくグループ分けは、年齢等を考慮しながら異年齢構成にします。

リーダー（大人）と遊ぶのではなく、子ども同士が遊べる環境作りを実施して行きます。

お友達同士、グループでの参加の場合、特別な配慮はありません。

お友達同士、グループで遊びに来る場所ではなく、お友達を作りに来る場所です。

異年齢・地域もマチマチ・男女差も関係なく・言葉も関係なく・一人で勇気を持って

1年生のお子様から参加しています。必ず息の合う友だちができます。

お友達同士、グループで参加するといじめの構図できあがります。

尚、「いつキャン」はお友達同士、グループでも参加でき自由です。